



あこう通信

「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

～いい顔 いい声 いい心～

発行：令和7年5月12日（月）NO7 文責：副校長 津田 幸一

学校 HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）



家庭学習のすすめ

新学期が始まり、お子様たちは新たな目標に向かって日々努力を重ねていることでしょう。

学校では、授業や様々な活動を通して、子どもたちの学びを深めるための支援を行っていますが、家庭学習は、子どもたちの学力向上と自律的な学習習慣の育成に不可欠なものです。

そこで、今一度、ご家庭におけるお子様の学習環境について、以下の点にご留意いただき、より一層の充実にご協力をお願いいたします。

1. 家庭学習の時間の確保について

一日の生活リズムの中に、**決まった家庭学習の時間を設ける**ようにしましょう。

テレビやゲーム、スマートフォンなどの誘惑を避け、集中できる環境を整えることが大切です。お子様の年齢や発達段階に応じて、適切な学習時間や内容を設定してください。

2. 家庭学習の内容について

学校の宿題だけでなく、授業の**復習や予習**を取り入れることで、学習内容の定着を促しましょう。興味や関心のある分野について、自主的に学習する機会を与えることも重要です。

新聞や書籍を読む、調べ学習をするなど、多様な学習活動を通して、知的好奇心を刺激しましょう。

3. 保護者の皆様のご協力について

お子様の家庭学習の状況を把握し、励ましや声かけをお願いいたします。学習内容について質問された際には、一緒に考えたり、調べたりするなど、サポートをお願いいたします。お子様の**頑張りを認め、達成感を味わえるように、温かい言葉で褒めて**あげてください。

ご家庭での学習の様子や気になることなどございましたら、ご遠慮なく学校にご連絡ください。

家庭学習は、子どもたちが自ら学び、成長していくための大切な時間です。学校と家庭が連携し、子どもたちの学びをしっかりと支えていきましょう。

学校と家庭でタッグを組んで、家庭学習の充実に取り組んでいきたいと考えております。

探し求めて学ぶ子に

本田技研工業（ホンダ）の創業者である**本田宗一郎さん**は、自動車技術者としての道を歩む中で、常に現状に満足せず、新しい技術やアイデアを自ら探し求めました。

彼は、既存のエンジン技術を改良するだけでなく、新しい発想を取り入れた独自の技術を開発し、世界的な自動車メーカーを築き上げました。

彼の成功は、革新を生み出すためには、**既存の枠にとらわれず、常に新しい可能性を自ら探し求める探求心と行動力が必要である**ことを示唆しています。

学習も同じです。課題を与えられることに慣れるということは、自ら探し求める力を失っていくということでもあります。

今年度、本校では、高学年児童の「**自習学習への転換**」を掲げ、各学級で宿題の出し方を工夫して行っているところです。

自主学習を取り入れるということは、取り組む前にその内容を考えることも加わってきます。つまり「**学び方**」を身に付けなければなりません。

先行実践から、一度**学力が落ちることがあっても、時間経過とともに大きく学力を伸ばす**ということが分かっています。ひとたび子供たちが自分なりの学び方を身につけてしまえば、決まった宿題方式の学校よりも学力が高くなるという例が多く存在します。

自習学習を充実させ、子供たちを新しいステージに連れて行ってあげたいと思っています。

探究的な学びを

本校では、家庭学習の充実を図るために、教師から与えられる宿題から、自分で学びを選択していく宿題へと移行しようとしています。その際に大切になるのは、探究的に取り組むことです。探究的に家庭学習に取り組むために、次のような手順で進むことが大切です。まず、「**〇〇ができるようになりたい。**」「**なぜ〇〇だろう。**」等の願いや課題意識を基にという課題設定します。次に、設定した課題を達成するために必要な情報を収集します。そして、集めた情報を比較・分類・序列化するなど、整理・分析します。最後に、調べたことをまとめ、振り返ります。この四つの手順で進むことで、探究的な家庭学習になり、学びが充実したものとなることでしょう。

研究主任 山本 麟太郎